



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東大

上場会社名 ユニチカ株式会社
コード番号 3103 URL <http://www.unitika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安江 健治
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石川 省二

TEL 06-6281-5721

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	129,504	△2.3	7,251	△0.2	3,898	0.0	2,292	0.6
23年3月期第3四半期	132,595	△1.0	7,265	17.2	3,898	19.7	2,279	396.0

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 1,788百万円 (△21.4%) 23年3月期第3四半期 2,273百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4.20	4.04
23年3月期第3四半期	4.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	276,422	32,790	10.5
23年3月期	268,740	25,977	8.3

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 29,086百万円 23年3月期 22,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	178,500	△1.2	12,500	18.9	8,000	30.7	3,500	43.2	6.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	572,960,324 株	23年3月期	475,969,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	569,333 株	23年3月期	561,784 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	545,509,365 株	23年3月期3Q	475,418,244 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成23年4月1日～平成23年12月31日）のわが国経済は、夏場まで緩やかな回復基調にありましたが、欧州の債務問題、中国など新興国の伸び率の鈍化など世界経済が減速しつつあり、国内では歴史的な円高による輸出の低迷、生産の海外シフトなど、先行き不透明な状況で推移しました。こうした中、売上高は129,504百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は7,251百万円（同0.2%減）、経常利益は3,898百万円（同0.0%増）、四半期純利益は2,292百万円（同0.6%増）となり、環境事業の事業譲渡などから売上高は減少し、各段階の利益は夏場以降に電気・電子機器用途などの需要減速影響を受けたため、ほぼ前年同期並みとなりました。

セグメント別の状況は次の通りです。

【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野は秋以降急速に在庫調整の局面となったものの累計の売上は増加しましたが、工業分野は電気・電子機器用途などの需要落込みにより売上が減少しました。事業全体としては第2四半期までの出荷増に支えられ収益は伸長しました。樹脂事業では、自動車用途の回復が一進一退する中、高付加価値の電気・電子用途、事務機器用途の需要低迷を受け、収益は減少しました。不織布事業では、ポリエステルспанポンドは衛生材料・ルーフィング用途が堅調でしたが、主要な用途であるカーペット用途が伸び悩みました。また、綿спанレースは夏場の好調な需要に支えられ、ウェットシート用途が堅調に推移しました。

【機能材事業】

ガラス繊維事業では、ビル・土木改修用途が堅調に推移しました。ICクロス事業では、半導体市況の低迷が長引く中、一部の商品が高付加価値品にシフトしたため収益は改善傾向にありますが、採算は引き続き厳しい状況で推移しました。ガラスビーズ事業では、工業用途の回復が秋以降にずれ込んだため、低調に推移しました。また、活性炭繊維事業では、水栓内蔵型などの浄水器用途や業務用マスク用途が伸長しました。

【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸は建築・土木分野で堅調に推移しましたが、ポリエステル短繊維は円高による海外品との価格競合などから厳しい状況で推移しました。ビニロン繊維は、セメント補強用途が欧州の景気悪化による需要の減少、円高による海外品との価格競合などの影響を受け、採算の改善には至りませんでした。衣料繊維事業では、ユニフォームの好調が継続したほか、差別化糸やスポーツ・レディス分野の機能素材が順調に推移し、収益改善が進みました。

【その他】

生活健康事業では、健康食品や飼料原料は堅調に推移しましたが、食品機能素材は国内の需要低迷などにより苦戦しました。メディカル事業では、医用材料分野は循環系カテーテルが伸長し、生化学分野は酵素、診断薬とも堅調に推移しました。また、不動産関連事業では、新規物件が竣工したこともあり順調に推移しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前期末に比べ7,682百万円増加し、276,422百万円となりました。これは、主として売上債権、たな卸資産及び有形固定資産が増加したことによります。負債は、前期末に比べ869百万円増加し、243,632百万円となりました。これは、主として借入金が増加したものの、引当金等が増加したことによります。純資産は、前期末に比べ6,812百万円増加し、32,790百万円となりました。これは、主として新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加及び利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月10日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,786	15,769
受取手形及び売掛金	41,898	44,464
たな卸資産	46,615	52,112
その他	4,514	3,911
貸倒引当金	△233	△219
流動資産合計	109,580	116,038
固定資産		
有形固定資産		
土地	104,606	104,730
その他(純額)	47,062	48,807
有形固定資産合計	151,669	153,538
無形固定資産		
のれん	3	23
その他	727	762
無形固定資産合計	731	786
投資その他の資産		
その他	7,368	6,644
貸倒引当金	△609	△585
投資その他の資産合計	6,758	6,059
固定資産合計	159,159	160,384
資産合計	268,740	276,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,952	24,714
短期借入金	73,893	70,736
1年内返済予定の長期借入金	37,480	32,668
未払法人税等	325	317
賞与引当金	1,160	985
工事損失引当金	—	10
事業構造改善引当金	624	208
その他	10,869	12,921
流動負債合計	149,306	142,563
固定負債		
長期借入金	71,176	78,472
退職給付引当金	5,651	6,784
役員退職慰労引当金	71	59
その他	16,556	15,752
固定負債合計	93,456	101,069
負債合計	242,762	243,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,798	26,298
資本剰余金	1,661	4,161
利益剰余金	△1,943	347
自己株式	△55	△55
株主資本合計	23,460	30,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△49	△134
繰延ヘッジ損益	43	1
土地再評価差額金	2,452	2,575
為替換算調整勘定	△3,569	△4,107
その他の包括利益累計額合計	△1,123	△1,665
少数株主持分	3,641	3,703
純資産合計	25,977	32,790
負債純資産合計	268,740	276,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	132,595	129,504
売上原価	107,156	104,140
売上総利益	25,438	25,364
販売費及び一般管理費	18,172	18,112
営業利益	7,265	7,251
営業外収益		
受取利息	141	107
受取配当金	99	101
持分法による投資利益	41	—
その他	760	719
営業外収益合計	1,043	928
営業外費用		
支払利息	2,695	2,461
持分法による投資損失	—	197
その他	1,716	1,622
営業外費用合計	4,411	4,282
経常利益	3,898	3,898
特別利益		
固定資産売却益	293	16
特別利益合計	293	16
特別損失		
固定資産処分損	349	422
投資有価証券評価損	677	9
事業構造改善費用	242	588
退職給付制度終了損	13	299
その他	702	211
特別損失合計	1,986	1,531
税金等調整前四半期純利益	2,205	2,384
法人税、住民税及び事業税	433	331
法人税等調整額	△535	△283
法人税等合計	△101	47
少数株主損益調整前四半期純利益	2,307	2,336
少数株主利益	28	43
四半期純利益	2,279	2,292

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,307	2,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	269	△84
繰延ヘッジ損益	△9	△41
土地再評価差額金	—	150
為替換算調整勘定	△277	△547
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△24
その他の包括利益合計	△33	△548
四半期包括利益	2,273	1,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,311	1,750
少数株主に係る四半期包括利益	△38	37

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,661	11,216	56,796	117,674	14,921	132,595	—	132,595
セグメント間の内部売上 高又は振替高	24	15	135	174	1,502	1,677	△1,677	—
計	49,685	11,231	56,931	117,848	16,423	134,272	△1,677	132,595
セグメント利益	7,425	1,186	357	8,968	222	9,191	△1,925	7,265

(注) 1. その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,925百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,557	11,353	55,807	118,719	10,785	129,504	—	129,504
セグメント間の内部売上 高又は振替高	14	34	176	225	1,446	1,672	△1,672	—
計	51,572	11,388	55,983	118,944	12,232	131,176	△1,672	129,504
セグメント利益	6,900	1,249	562	8,711	326	9,038	△1,786	7,251

(注) 1. その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,786百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換(行使)により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,500百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が26,298百万円、資本剰余金が4,161百万円となっています。